

見沼田んぼ・野草スケッチ「ヒメキンセンカ」

姫金盞花（冬咲き金盞花）／（冬不知）／カレンデュラ・アルヴェンシス

分類：キク科 キンセンカ属

花言葉：悲しみ（英）／不安・疑惑・嫉妬（仏）



見沼田んぼの近くを散歩していると、とある団地の広場に黄色い点々が見えたので、近ずいて見ると見たことのある花だが、小ぶりなのでミニ・・・かな？と思いました。家に帰りネットで検索するとミニキンセンカとありました。これです。積んできたこの花を剣山に刺し鑑賞。3月2日に採集したがしおれることなく今日も花が開いています。確かに生命力の強い花です。



そう果（茶色になる）

「ヒメキンセンカ」	
世界：	南欧／地中海沿岸
生育地：	江戸時代、南ヨーロッパ原産のキンセンカより早く渡来したが、花が大きく、八重咲きのキンセンカのほうが園芸用に理流通。このヒメキンセンカはキンセンカ の原種といわれており、日本各地に野生化、帰化している
茎 丈：	10cm前後程度。稜があり腺毛に覆われている。茎頂に径2～3cm程度の頭花。
葉：	披針形で縁には鈍鋸歯互生。
花期：	通年に開花
花・花色：	黄色～橙色。
種子：果実	冠毛がなく、強く曲がり、背に多数の突起
特徴：	一年生草本
由来	10世紀頃に渡来していると推測
	写真、GKZ 植物事典より 2019.3.6 ウィキペディアより